重点分野６　発症予防・健診・重症化予防

事業名	56	予防接種事業（HPVワクチン，B型肝炎ワクチン）	所管課	健康増進課
内容	小学６年生から高校１年生相当の女子に対し，HPVワクチン接種を実施。 生後１歳未満の者にB型肝炎ワクチン接種を実施。			
期待する効果	HPVへの感染及び子宮頸がんの前がん病変を予防 B型肝炎ウイルスへの感染を予防			
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市医師会，千葉県医師会など		ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期：○ 青壮年期 高齢期

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 高校１年生HPVワクチン累積初回接種率	↑	-	60.4%	57.0%	
	② B型肝炎ワクチン接種率	↑	99.7%	97.2%	99.1%	
	③					

評価	HPVワクチンの接種率は，大幅に接種率が増加した令和６年度と比較して低下したが，個別通知の対象を中学１年生から小学６年生の時期に前倒しし，より早期からの接種勧奨を実施した。また，高校１年生への個別通知のほか，学校を通じて女子中学生向けのリーフレットを配付した。B型肝炎ワクチンは出生時に予防接種ノート（予診票一式）を送付し，接種勧奨を継続。積極的な個別勧奨はなくとも接種実績は安定している。
今後の方向性	HPVワクチンについては，長期の接種勧奨控えにより，副反応に対する不安から接種率が伸び悩んでいる。今後も正しい知識の情報提供と啓発を継続し，子宮頸がん予防の実現を目指す。B型肝炎ワクチンについては，引き続き出生時の予防接種ノート（予診票一式）送付による勧奨を継続し，安定した接種実績を維持して感染予防に努める。

事業名	57	特定保健指導	所管課	健康増進課
内容	特定健康診査の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者に，３ヶ月以上の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。特定保健指導を受けやすい体制づくりや，実施率向上のため市民への啓発を実施している。			
期待する効果	生活習慣の見直し等により，生活習慣病の予防ができ，市民の健康の保持・増進・健康寿命の延伸を図る。			
関係課 関係機関 （民間企業含む）	民間委託業者，委託医療機関，JA千葉厚生連，ちば県民保健予防財団		ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期 青壮年期：○ 高齢期

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 特定保健指導実施率	↑	21.8%	20.3%	R8.10に確定	
	② 初回支援実施者数（民間委託業者，委託医療機関，JA千葉厚生連，ちば県民保健予防財団）	↑	21.7%	22.7%	R8.10に確定	
	③					

評価	特定保健指導の民間委託により，平日夜間や自宅・職場への訪問，ICTを活用した特定保健指導の実施体制を強化することができた。さらに，働く世代が利用しやすい環境づくりとして，柏駅徒歩5分圏内で20時まで面談可能な会場を増設したことにより，利便性の向上が図られた。
今後の方向性	健診受診後に速やかに特定保健指導を開始できるよう，委託医療機関の拡充に取り組む。あわせて，医療機関説明会や個別説明を通じて委託医療機関数の増加に努める。また，初回支援後に支援が中断しそうな対象者には柏市からも積極的に連絡を行い，継続支援につなげることで，特定保健指導実施率の向上を目指す。

重点分野６　発症予防・健診・重症化予防

事業名	58 健康づくり普及啓発事業（重症化予防）	所管課	健康増進課
内容	イベント，依頼の健康教育，出前講座等の中でがん等に関する啓発を実施		
期待する効果	がんの原因、早期発見の重要性、検診受診の必要性などの理解が深まり検診受診行動へ移すことができる。 また「がんは生活習慣病と共通のリスク要因（喫煙・飲酒・食生活・運動不足）と関係する」と伝えることで、がん予防を生活習慣全体の改善と結びつけて考え行動することができる。		

関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市民健康づくり推進員連絡協議会，沼南支所，図書館	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期	青壮年期	高齢期
			○	○	○

実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 啓発実施者数（がん）	↑	3,154人	1,532人	988人	1,000人
	②					
	③					

評価	図書館や沼南支所ロビー，柏市民健康づくり推進員による文化祭等にて，がんの受診勧奨等のリーフレット，グッズを配付した。がんは他の分野より啓発物が多く，特にグッズは好評であった。がんに関する依頼の健康教育はなく，がんの正しい知識に関する啓発機会は不十分であった。
今後の方向性	今後は，どの層へ，どのようながんの啓発が必要か等をより具体的に評価分析の上，ターゲットを絞りアプローチしていく。

事業名	59 がん検診事業（発症予防・健診・重症化予防）	所管課	健康増進課
内容	「がん検診重点健康教育及びがん検診の実施のための指針」（厚生労働省）に基づき，胃，大腸，結核・肺，乳，子宮の各がん検診の実施。		
期待する効果	各がんの早期発見，早期治療，がん死亡率の減少		

関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市医師会 ちば県民保健予防財団 医療センター	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期	青壮年期	高齢期
				○	○

実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 胃がん検診受診率	↑	12.4%	12.8%	14.9%	15.3%
	② 大腸がん検診受診率	↑	17.2%	16.8%	20.6%	21.1%
	③ 肺がん検診受診率	↑	15.4%	15.1%	17.9%	18.3%
	④ 乳がん検診受診率	↑	40.8%	41.2%	43.5%	43.9%
	⑤ 子宮がん検診受診率	↑	28.8%	29.3%	30.0%	30.6%

評価	令和７年度より，登録制の一部廃止や自己負担額の見直し等による取り組みにより受診率が向上した。令和８年の指標は，令和５～６年度の通常推移における増減幅を反映した。
今後の方向性	引き続きがん検診事業を継続し，がんの早期発見・早期治療を行い，がんの死亡率減少につなげる。

重点分野６　発症予防・健診・重症化予防

事業名	60 特定健康診査	所管課	健康増進課
内容	４０歳以上の柏市国民健康保険加入者を対象に，生活習慣病予防を目的として健康診査を実施。受診率向上のため，R7はAI技術を活用した受診勧奨を実施。また，あらゆる機会を捉え，関係機関とも連携を図り，受診勧奨を実施している。		
期待する効果	生活習慣病の早期発見・早期治療につなげ，市民の健康の保持・増進，健康寿命の延伸を図る。		
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市医師会・ちば県民保健予防財団等 地域包括支援課・地域包括支援センター	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期 / 青壮年期 / 高齢期 　/ ○ /

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 特定健康診査受診率	↑	44.2%	44.8%	データ未確定	
	② 受診勧奨通知数	―	28,779通	33,273通	32,552通	
	③					

評価	特定健康診査の周知・啓発，受診勧奨通知等の実施により，受診率向上を目指している。 令和７年度は人工知能を用いて，対象者の過去３年分の健診の問診情報より４種類にグループ化しそれぞれの対象に応じたデザインを作成して受診勧奨を実施。過去３年の対象者の受診履歴別分析の結果，健診の受診が不定期である者の割合が多い事が判明したため，連続受診に繋げられるような通知の対策が必要である。
今後の方向性	引き続き，特定健康診査の周知・啓発，受診勧奨通知等を実施し，特定健康診査の受診率向上を目指していく。

事業名	61 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業（発症予防・健診・重症化予防）	所管課	健康増進課
内容	①　受診勧奨・受診再勧奨 ②　無料クーポン事業（子宮頸がん，乳がん） ③　要精密検査未受診者への受診勧奨事業		
期待する効果	がん検診を受けるきっかけとして，今まで受診したことがない人が受診することで，受診率向上に寄与する，要精密検査未受診者が受診することで，がんの早期発見，早期治療へつなげる		
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市医師会 ちば県民保健予防財団 医療センター	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期 / 青壮年期 / 高齢期 　/ ○ / ○

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① クーポン利用受診率（子宮頸がん）	↑	5.9%	6.2%	6.3%	7.5%
	② クーポン利用受診率（乳がん）	↑	28.3%	30.9%	25.7%	35.0%
	③					

評価	子宮頸がん検診および乳がん検診において，特定の年齢のかたに無料クーポン，検診手帳（啓発用）を送付し，がん検診の周知啓発，受診勧奨，検診の実施を行う。 該当のがん検診を知り，受診するきっかけづくりとなっている。また初回を無料で受診できることから受診率向上に寄与し，早期の検診習慣化につながっている。
今後の方向性	国の施策であり，事業が終了しない限り，継続して実施する。 検診手帳については，国から提供されているデザインを加味しながら，市独自の視点も盛り込み，検診受診率の向上に努める。

重点分野６　発症予防・健診・重症化予防

事業名	62	プレ特定健康診査	所管課	健康増進課
内容	１８歳から３９歳の柏市国民健康保険加入者を対象に，生活習慣病予防を目的とした健診を実施。 また，受診率の向上のため，あらゆる機会をとらえ，受診勧奨を実施。			
期待する効果	若い世代からの健診受診の習慣化，生活習慣病の予防・早期発見・早期治療や，受診率の低い40歳から50歳代の受診率向上につなげることで，市民の健康の保持・増進，健康寿命の延伸を図る。			
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市医師会・ちば県民保健予防財団等		ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期 / 青壮年期 / 高齢期 　/ ○ /

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① プレ特定健康診査の受診率		－	－	20.2%	14.6%
	② 受診勧奨通知数（R7以降は，受診券の申請勧奨通知数を含む。）		671通	569通	6,491通	
	③					

評価	令和６年度まで，39歳のみをプレ健康診査の対象者とし，自己負担(1,400円)を設けて実施していたが，令和７年度より，18歳から39歳へ拡大するとともに，自己負担を無料とし，特定健康診査同様の健康診査を受けられる体制の見直しをした。また，がん検診と同日に受診できる「レディース健診」を実施するなど受診しやすい環境を整備した結果，受診率は20.2%となった。
今後の方向性	引き続き，プレ特定健康診査の周知・啓発，受診勧奨通知等の実施し，プレ特定健康診査の受診率向上を目指していく。

事業名	63	糖尿病性腎症重症化予防プログラム	所管課	健康増進課
内容	糖尿病性腎症重症化を予防し，人工透析の導入を抑制することを目的とし，健康診断の結果で腎症の疑いのある対象者に健康講座や専門職による保健指導を実施する。			
期待する効果	正しい知識の普及や生活習慣の見直しや早期受診により，糖尿病性腎症等の重症化が予防できる			
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市医師会（柏市立柏病院，東京慈恵会医科大学附属柏病院，かかりつけ医等）		ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期 / 青壮年期 / 高齢期 　/ ○ / ○

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 参加者の受診率	↑	35.7%	39.1%	58.8%	65.0%
	② 新規透析導入数	↓	50人	62人	56人	50人
	③					

評価	プログラム内の個人面談では，糖尿病看護認定看護師，管理栄養士，歯科衛生士の３職種が面談を実施し，個々に合った専門的な支援を行うことができた。また，「かかりつけ医を作る」を目標に掲げ，毎回のプログラムごとに受診状況を確認したことで，医療機関への受診につながり，受診率の向上が図られた。
今後の方向性	プログラム参加者の満足度は高い一方で，参加率が低い状況にある。利用勧奨による電話の聞き取りでは，「かかりつけ医がいる（通院中）」「興味がない」等の意見が多く聞かれた。今後は，重症化予防の観点から，プログラムの目的や必要性をより分かりやすく周知や説明を行い，参加につながるような利用勧奨の工夫を検討していく。

重点分野６　発症予防・健診・重症化予防

事業名	64	重症化予防事業	所管課	健康増進課
内容	特定健康診査を受診した結果，重症化リスクの高い，医療機関未受診者に対して，通知および電話による受診勧奨と保健指導を行う等により，治療を促し，重症化を予防する。			
期待する効果	受診勧奨による治療につなげ，生活習慣病の重症化を予防できる。			
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市医師会等		ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期： 青壮年期：○ 高齢期：

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 受診勧奨者のうち医療機関受診割合	↑	78.8%	71.4%	データ未確定	78.5%
	②					
	③					

評価	受診勧奨により，医療機関の受診につなげられた方は，令和６年度は，71.4%であり，一定の効果が得られている。令和７年度は，特定健診等保健事業検討会にて，重症化予防の対象者を拡大することとなったため，受診割合の推移等を確認し，より効果的なアプローチを検討していく。
今後の方向性	「柏市国民健康保険第３期保健事業実施計画（データヘルス計画）」および「柏市国民健康保険第４期特定健康診査等実施計画」に基づき，受診勧奨により，医療機関受診割合の向上を目指していく。

事業名	65	プレコンセプションケア推進事業（発症予防・健診・重症化予防）	所管課	母子保健課
内容	男女を問わず，若い世代が将来の健やかな妊娠や出産を含めたライフデザインを主体的に選択できるよう，プレコンゼミ（動画視聴）による啓発とプレコン健診の費用助成を行うもの。			
期待する効果	・プレコンセプションゼミを通して，男女を問わず若い世代が早い段階から正しい知識のもとで健康的な生活を送ることの必要性を認識できる。 ・プレコンセプション健診を通して，妊孕性を含めた健康状態を把握し，主体的にライフデザインを選択できる。			
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市医師会，柏市学校保健会，千葉県助産師会，グループＳＥＣ，柏市ＰＴＡ連絡協議会，柏市民生委員児童委員協議会，柏市民健康づくり推進員連絡協議会，柏市教育委員会（学校教育課・児童生徒課・少年補導センター），健康増進課，こども相談センター		ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期：○ 青壮年期：○ 高齢期：

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 「プレコンセプションゼミ」視聴申請数	維持			203人	200人（見込）
	② 「プレコンセプションゼミ」理解度	維持			100%	100%（見込）
	③					

評価	・プレコンセプションゼミは令和７年９月に新規開始した事業であり，開始４日目に定員１００名に達し，１１月の追加実施も１８日目に定員１００名に達して受付終了となったことから，想定よりも市民の関心は高いと考えられる。申請者の７５%が既婚者で妊娠を含めたライフデザインを考える上でニーズが高かったと考えられる。24歳以下の申請者は６%と少なく，より若い世代への啓発が今後の課題である。
今後の方向性	・対象者の発達段階に応じたプレコンセプションケアを含む包括的セクシュアリティ教育の実施 ・「プレコンセプションゼミ」及び「プレコンセプション健診」の効果的な実施 ・千葉県妊活健診支援事業を開始予定

重点分野６　発症予防・健診・重症化予防

事業名	66 地域・職域連携推進事業	所管課	健康増進課
内容	月に１回健康情報のメール配信や依頼があった企業へ依頼の健康教育の実施・啓発物品の貸出，好事例事業所の情報発信を行う。また，地域・職域連携推進連絡協議会の実施する。		
期待する効果	・支援が届きにくい青壮年期への健康づくり ・協議会を通じて課題の「見える化」や関係機関の連携を強化		
関係課 関係機関 （民間企業含む）	全国健康保険協会千葉支部，柏労働基準監督署，柏労働基準協会，東葛北部地域産業保健センター，柏商工会議所，柏市沼南商工会，民間企業，柏市医師会，柏歯科医師会	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期：○ 青壮年期：○ 高齢期：○

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 健康情報メール配信	↑	12	12	12	12
	② 依頼の健康教育	→		4	4	5
	③					

評価	依頼の健康教育において野菜摂取量測定器を活用したことで，従業員の食生活の振り返りや野菜摂取に対する意識向上につなげることができた。一方で，市のサービスを活用する事業所は偏っており，新規利用事業所の拡大が課題である。また，令和7年度は，地域・職域連絡協議会は開催せず，委員への個別説明により意見を聴取したため，今後は委員からの意見を事業に反映するとともに，新規事業所への働きかけを強化する必要がある。
今後の方向性	包括連携協定事業所と連携し，健康情報の発信や「働く人の健康ガイド（仮称）」の配布を通じて，市内事業所への普及啓発及び新規事業所への周知を強化する。また，今後は健康増進専門分科会において，働く世代の健康づくりに関する取組を検討していく。

事業名	67 【再掲】プレコンセプションケア推進事業（発症予防・健診・重症化予防）	所管課	母子保健課
内容	男女を問わず，若い世代が将来の健やかな妊娠や出産を含めたライフデザインを主体的に選択できるよう，プレコンゼミ（動画視聴）による啓発とプレコン健診の費用助成を行うもの。		
期待する効果	・プレコンセプションゼミを通して，男女を問わず若い世代が早い段階から正しい知識のもとで健康的な生活を送ることの必要性を認識できる。 ・プレコンセプション健診を通して，妊孕性を含めた健康状態を把握し，主体的にライフデザインを選択できる。		
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市医師会，柏市学校保健会，千葉県助産師会，グループＳＥＣ，柏市ＰＴＡ連絡協議会，柏市民生委員児童委員協議会，柏市民健康づくり推進員連絡協議会，柏市教育委員会（学校教育課・児童生徒課・少年補導センター），健康増進課，こども相談センター	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期：○ 青壮年期：○ 高齢期：

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 「プレコンセプションゼミ」視聴申請数	維持			203人	200人（見込）
	② 「プレコンセプションゼミ」理解度	維持			100%	100%（見込）
	③					

評価	・プレコンセプションゼミは令和７年９月に新規開始した事業であり，開始４日目に定員１００名に達し，１１月の追加実施も１８日目に定員１００名に達して受付終了となったことから，想定よりも市民の関心は高いと考えられる。申請者の７５％が既婚者で妊娠を含めたライフデザインを考える上でニーズが高かったと考えられる。24歳以下の申請者は６％と少なく，より若い世代への啓発が今後の課題である。
今後の方向性	・対象者の発達段階に応じたプレコンセプションケアを含む包括的セクシュアリティ教育の実施 ・「プレコンセプションゼミ」及び「プレコンセプション健診」の効果的な実施 ・千葉県妊活健診支援事業を開始予定

重点分野６　発症予防・健診・重症化予防

事業名	68	１歳６か月児健康診査・３歳児健康診査（発症予防・健診・重症化予防）	所管課	母子保健課
内容	・身体計測，歯科診察・歯科相談，育児相談，栄養相談，小児科診察，発達相談等を通して児の心身ともに健康な成長と保護者の育児を支援する。			
期待する効果	・児の心身の異常の早期発見，早期支援 ・保護者の育児負担，育児不安への支援による虐待予防			
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市医師会，柏歯科医師会，こども発達センター		ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期：○ 青壮年期 高齢期

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① １歳６か月児健康診査受診率	増	97.60%	93.50%	93.10%	94.00%
	② ３歳児健康診査受診率	増	95.30%	90.10%	91.00%	92.00%
	③					

評価	・１歳６か月児健康診査受診率はほぼ横ばい，３歳児健康診査受診率は微増だが，対象者のうち他機関や他市区町村で受診している児や４月以降（年度を越えた受診期間内）に受診した児を含めると，受診率は横ばいとなっている。 ・育児相談にて保護者の育児負担感や不安がある場合には，話を傾聴し利用可能なサービスの紹介や地域担当保健師からの支援を提案している。また，不適切なかかわりが見られた際には対応を助言し，その後の実践状況や今後の対応を地域担当保健師とともに考えることを提案することで育てにくさ軽減や虐待予防に努めている。 ・健診にて要精密検査となった児で２か月後まで受診がない児に対して，電話連絡し受診勧奨を実施，発達に課題がある児に対しても丁寧に対応し，現在検査が難しい場合でも一度受診し，その後の方針を医師と相談することを勧めている。
今後の方向性	・受診率向上のための受診勧奨はがき送付の継続 ・育児相談の精度管理(虐待の早期発見のためのリスクアセスメント用紙の活用，報告フローにもとづいた緊急時の対応　等)

重点分野７　女性の健康

事業名	69 がん検診事業（女性）	所管課	健康増進課
内容	働く女性・子育て中の女性が安心して検診を受けられる環境を整える。具体的には複数のがん検診を一度に受診できるようにする「レディース検診」の実施，子育て中でも受診できるよう，連絡不要で子どと来場できる「子づれ可能な日」を設定。また働く世代が受診しやすい時間帯の確保として土曜日の検診実施を行う.		
期待する効果	女性のがん検診受診率（とくに女性特有のがん検診受診率）が上昇する。 子育て世代から「受けやすくなった」という満足度が向上する。		

関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市医師会 ちば県民保健予防財団 医療センター	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期	青壮年期	高齢期
				○	○

実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 乳がん検診受診率	↑	40.8%	41.2%	43.5%	43.9%
	② 子宮がん検診受診率	↑	28.8%	29.3%	30.0%	30.6%
	③ 「お子様連れのがん検診に関するアンケート調査」の結果「また利用したい」の回答率	↑	―	―	99.1%	90.0%

評価	令和７年度より，登録制の一部廃止や自己負担額の見直し等による取り組みにより受診率が向上した。令和８年の指標は，令和５～６年度の通常推移における増減幅を反映した。
今後の方向性	引き続きがん検診事業を継続し，がんの早期発見・早期治療を行い，がんの死亡率減少につなげる。

事業名	70 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業（女性）	所管課	健康増進課
内容	①　受診勧奨・受診再勧奨 ②　無料クーポン事業（子宮頸がん，乳がん） ③　要精密検査未受診者への受診勧奨事業		
期待する効果	がん検診を受けるきっかけとして，今まで受診したことがない人が受診することで，受診率向上に寄与する，要精密検査未受診者が受診することで，がんの早期発見，早期治療へつなげる		

関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市医師会 ちば県民保健予防財団 医療センター	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期	青壮年期	高齢期
				○	○

実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① クーポン利用受診率（子宮頸がん）	↑	5.9%	6.2%	6.3%	7.5%
	② クーポン利用受診率（乳がん）	↑	28.3%	30.9%	25.7%	35.0%
	③					

評価	子宮頸がん検診および乳がん検診において，特定の年齢のかたに無料クーポン，検診手帳（啓発用）を送付し，がん検診の周知啓発，受診勧奨，検診の実施を行う。 該当のがん検診を知り，受診するきっかけづくりとなっている。また初回を無料で受診できることから受診率向上に寄与し，早期の検診習慣化につながっている。
今後の方向性	国の施策であり，事業が終了しない限り，継続して実施する。 検診手帳については，国から提供されているデザインを加味しながら，市独自の視点も盛り込み，検診受診率の向上に努める。

重点分野７　女性の健康

事業名	71	骨粗しょう症検査	所管課	健康増進課
内容	傾向増進法に基づき，４０歳から７０歳までの５歳刻み年齢の女性を対象に，骨粗しょう症予防を目的に検査を実施する			
期待する効果	骨粗しょう症の早期発見，早期治療			
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市医師会		ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期： 青壮年期：○ 高齢期：○

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 骨粗しょう症検査受診率	↑	22.9	22.9	23.1%	24.42%
	② 骨健康度測定者数	↑	―	―	1,911人	2,000人
	③					

評価	集団検診においては，乳がん検診と同日実施をするなど工夫を行い，対象年齢の女性が受診しやすい機会の提供を行っている。また，検診事後に「健康づくり相談」を実施し，事後フォローを行う体制を取っている。令和８年度指標は，第２次健康増進計画の目標値に向け，令和７年度実績から算出した。商業施設や文化祭等で骨健康度測定器を用いた啓発を行った。
今後の方向性	レディース検診や幼児健診の場などを活用し，骨粗しょう症の正しい知識の普及・啓発を行い，必要性を伝えていく。また受けやすい検診の場の提供として，現在実施している他検診との同日実施や検査後予防域と診断された方のフォロー体制を充実し，予防や早期治療へつなげていく。商業施設や文化祭等で骨健康度測定器を用いた啓発を行い，骨粗しょう症予防に関する意識の向上を図る。

事業名	72	プレコンセプションケア推進事業（女性）	所管課	母子保健課
内容	男女を問わず，若い世代が将来の健やかな妊娠や出産を含めたライフデザインを主体的に選択できるよう，プレコンゼミ（動画視聴）による啓発とプレコン健診の費用助成を行うもの。			
期待する効果	・プレコンセプションゼミを通して，男女を問わず若い世代が早い段階から正しい知識のもとで健康的な生活を送ることの必要性を認識できる。 ・プレコンセプション健診を通して，妊孕性を含めた健康状態を把握し，主体的にライフデザインを選択できる。			
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市医師会，柏市学校保健会，千葉県助産師会，グループＳＥＣ，柏市ＰＴＡ連絡協議会，柏市民生委員児童委員協議会，柏市民健康づくり推進員連絡協議会，柏市教育委員会（学校教育課・児童生徒課・少年補導センター），健康増進課，こども相談センター		ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期： 青壮年期：○ 高齢期：

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 「プレコンセプションゼミ」視聴申請数	維持			203人	200人（見込）
	② 「プレコンセプションゼミ」理解度	維持			100%	100%（見込）
	③					

評価	・プレコンセプションゼミは令和７年９月に新規開始した事業であり，開始４日目に定員１００名に達し，１１月の追加実施も１８日目に定員１００名に達して受付終了となったことから，想定よりも市民の関心は高いと考えられる。申請者の７５％が既婚者で妊娠を含めたライフデザインを考える上でニーズが高かったと考えられる。24歳以下の申請者は６％と少なく，より若い世代への啓発が今後の課題である。
今後の方向性	・対象者の発達段階に応じたプレコンセプションケアを含む包括的セクシュアリティ教育の実施 ・「プレコンセプションゼミ」及び「プレコンセプション健診」の効果的な実施 ・千葉県妊活健診支援事業を開始予定